

従来のイメージを一新！仕事に、趣味に スタイリッシュな「見えない超小型補聴器」 お客様とよりよい聴こえを追求

ヒヤリングストア

小型補聴器専門店ヒヤリングストア（目黒区自由が丘、清水大輔代表、03・3723・2055）は、現在都内に8店舗（メルサ銀座2丁目店、新宿西口店、青山店、目黒店、大森店、二子玉川店、グランデュオ蒲田店、自由が丘店）を展開。清水代表は耳の病気が原因で聴力が低下、27歳から補聴器を使用している。目立たない補聴器と出会い、聴こえの悩みが解消できたことをきっかけに「同じ悩みを持つ方々の受け皿となること、そして補聴器がメガネと同じように当たり前のツールとなる社会をつくること」を自らの使命とし、平成14年に創業した。

補聴器と聞くと、メガネと異なり少し抵抗があるのではないだろうか。しかし、最近の補聴器はスマートフォンで音の調整ができるなど性能の向上はもちろん、目立たないことやデザインもファッション性に優れ、以前のイメージが大きく変化してきている。そのため、50代、60代の、普段は聴こえの不便をそれほど感じない方が会議や会合をはじめ趣味の時間などに、人生をより充実させ、楽しむために積極的に使用するケースが一般的になりつつある。

同社では、最先端を行くヨーロッパの海外大手メーカーの補聴器を中心に取扱っており、認定補聴器技能者、言語聴覚士、補聴器愛用のスタッフが永年の経験を元に、お客様と気持ちを共有しながらより良い聴こえをつくり上げて



スタイリッシュな店内（自由が丘店）


ヒヤリングストア
小型補聴器専門店



いく。また、長く安心して使っていただけようアフターメンテナンスにも力を入れている。

世界のトップブランド、シーメンスとの共同企画で誕生した同社オリジナルの「見えない超小型耳あな補聴器」は多くのお客様に支持を得て、わずか8店舗ながら小型耳あな補聴器CICでは販売台数全国No.1（シーメンス補聴器2015年度実績）となった。

「無料貸出」「返品保証」「購入後の機種交換」「下取り」など、失敗しない補聴器選びのサービスも好評。ぜひお気軽にご相談を。

※同社ホームページは「ヒヤリングストア」で検索